

戦略的創造研究推進事業  
(社会技術研究開発)  
平成27年度実装活動報告書

研究開発成果実装支援プログラム  
「聴覚障害高校生への遠隔パソコン文字通訳での授業支援」

採択年度 平成26年度

実装責任者氏名 玉田 雅己

(特定非営利活動法人

バイリンガル・バイカルチュラルろう教育センター、代表理事)

## 1. 概要

今年度は聴覚障害高校生4名に対し4月～合計で約1450時限/年の実装試行実験を行い、平成25年度約500時間、平成26年度約1050時間と累積して約3000時間の実績となった。以前より課題であった教師の音声品質改善策（ワイヤレスマイク導入）を講じた結果、一定の音声確保は得られるようになった。しかし安定しないケースもあるため継続して課題抽出と対策検討を行う。

有識者評価として、こども環境学会の有識者と意見交換を実施し、アドバイスを受けた。現地モニタリングについては、学校公開等の日程が合わず、代替映像で対応した。なお、POによる現地視察について実施し、意見交換を実施した。

運用面の機能改善としてシステム改善の運用機能改善対応については、試行導入を行い、引き続き、試行導入の中で更なる改善を実施する。

マニュアル整備として、文字通訳者との意見交換を行い、マニュアルとして必要なコンテンツの整理を実施し、部分的にまとめた案版による利用を実施している。

制度化の準備として、NPO法人「二枚目の名刺」等のサポートを受け、イベントでの文字通訳の実演による社会発信、協力者の募集を実施した。また、ろうの高校生ドキュメンタリー映画のファンレイジング（資金調達）による広報により、理解普及のきっかけとした。今後、情報発信とともに関係省庁、教育委員会等とコンタクトをとり概要説明、広報活動を行う。

## 2. 実装活動の具体的内容

### (1) 実装試行実験

聴覚障害高校生4名に対し、今年度4月～合計で約1450時限/年間（半期で約730時限）の授業支援を行い、平成25年度以降から累積して約3000時間の実績となった。

聴覚障害高校生4名「ろう生徒」（高校1・2・3年生）に対し、授業支援を実施した。対象授業は、高校1年では、コミ英Ⅰ、英表Ⅰ、現代文、地学基礎、保健、古典、地理A、倫理、家庭、高校2年では、高2：コミ英Ⅱ、現代文A、現代社会、世界史B、保健、物理基礎、高校3年では、世界史B、コミ英Ⅲ、英語表現、政治経済、古典、社会情報、現代文A、日本史B、大学受験補習授業を実施した。

表1 平成27年度 聴覚障害高校生への遠隔パソコン文字通訳での授業支援 実績

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
時限	134	131	234	55	149	165	187	135	110	116	47	1463
計	703時限						760時限					時限

教師の音声品質改善策（ワイヤレスマイク導入）を講じ、文字通訳内容の充実を図り効果が得られたが、一部の生徒で、条件により、音声品質上不安定な状態もあり継続して改善を実施し、より確実に利用できるように対策検討を行う。

(2) 有識者評価

こども環境学会を中心とした有識者により具体的な意見を意見交換を行い、現地モニタリングについては、学校公開等の日程が合わず、代替映像で対応した。生徒、教師、文字通訳者の状況と導入時の課題を共有し、特に教師の視点からアドバイスをいただいた。引き続き、来年度に向けて現地モニタリングの準備を行う。

また、POによる現地視察について実施していただき、貴重な意見交換をさせていただいた。

(3) システム改善

運用面の機能改善として生徒の時間割に対して情報支援者のマッチング支援を行う機能を強化し、試行導入を行い更なる改善を実施した。継続して、生徒用連携機能については試行の中で利用者の意見をヒアリングしながら改善していく。

(4) マニュアル整備

平成26年度に作成した文字通訳者の基本ルール、利用生徒への説明、学校や教員への説明資料の原案に、三者（文字通訳者、生徒、学校）からの意見を加え完成し、文字通訳者の研修、学校への説明などで利用を実施した。また、文字通訳者が表出する文章について、文字通訳者、利用生徒の意見を反映しながら高校の授業に適した要訳文の作り方の原案を作成した。今後は、英語の授業への対策と文字通訳者の研修のあり方を検討する。

(5) 制度化準備

制度化の準備として、NPO法人「二枚目の名刺」等のサポートを受け、イベントでの文字通訳の実演による社会発信、協力者の募集を実施した。また、ろうの高校生ドキュメンタリー映画のファンレイジング（資金調達）による広報により、理解普及のきっかけとした。次項に掲載内容を示す。

今後、情報発信とともに関係省庁、教育委員会等とコンタクトをとり概要説明、広報活動を行う。

### 3. 理解普及のための活動とその成果

■日経ビジネスカレッジ “「二枚目の名刺」を持とう” で掲載

【12】 ろうの生徒が平等に学べる環境を！ 「二枚目の名刺」×BBED（前編）

<http://www.nikkeibp.co.jp/atcl/column/15/407182/080500001/>

【13】 甲子園目指したろう生徒の次の夢描く映画制作に挑戦！ 「二枚目の名刺」×BBED（後編）

<http://www.nikkeibp.co.jp/atcl/column/15/407182/081900002/>

【14】「二枚目の名刺夏フェス2015」（前編）トークセッションで浮き彫りになった「参加」の課題

<http://www.nikkeibp.co.jp/atcl/column/15/407182/091600003/>

【15】「二枚目の名刺夏フェス2015」（後編）ミドル層にも広がる参加の輪

<http://www.nikkeibp.co.jp/atcl/column/15/407182/091800004/>

■二枚目の名刺 報告会

<http://nimaimo.com/2016/03/>【イベント開催報告】225（木）サポートプロジェクト

■日経 ecomom

「聞こえない」子どもたちが、もっとチャレンジできる環境作りを

<http://business.nikkeibp.co.jp/atclmom/report/15/3603061/100600055/>

■ドキュメンタリー映画制作・クラウド・ファインディングによる資金調達でPR  
<高校野球の次の夢！耳が聞こえなくてもできるとみんなに伝えたい>

<https://readyfor.jp/projects/17et17>

<https://www.facebook.com/17et17>

■朝日新聞

耳が聞こえなくても… 猛練習で勝ち取った正捕手の座

<http://www.asahi.com/koshien/articles/ASH7M3HJVH7LUTIL002.html>

■毎日新聞

<http://mainichi.jp/koshien/articles/20150702/ddl/k13/050/197000c>

■産経新聞

【高校野球】「聞こえないからこそ集中」 球児の夏、仏で紹介 パリで活動の邦人女性  
映画とTV番組制作

<http://www.sankeibiz.jp/express/news/150726/exe1507260700011-n1.htm>

■フランスのTVで特集 france5

[http://www.france5.fr/emissions/l-oeil-et-la-main/videos/super\\_hiro\\_26-10-2015\\_963605](http://www.france5.fr/emissions/l-oeil-et-la-main/videos/super_hiro_26-10-2015_963605)

※日本の高校での授業風景（PC遠隔文字通訳の様子）も含まれています。

■遠隔パソコン文字通訳PRビデオ（麒麟福祉財団助成）

<https://www.youtube.com/embed/s0HxDsaus5c?rel=0&showinfo=1>

■その他 専用HP ろう高校生への遠隔情報支援（ニュース）にて継続して発信予定

<http://pcmoji.bbed.org/news/>

以 上。